

2025 年度立教大学一般入試 「数学（理系）」入試問題 出題意図

数学（理系）では、大問 I の小問群、大問 II・III の論述問題、および数学科向けの大問 IV を出題した。出題範囲である数学 I、数学 II、数学 III、I 数学 A、数学 B、数学 C における数学的知識の正しい理解を測るため、各分野からまんべんなく問題を作成した。

特に、大問 I（小問群）では当該分野における計算能力を、大問 II・III では論理的根拠に基づいた数学的論述能力を測ることを目的としている。また、数学科向けの大問 IV では、数学科の学生に必要な論証力を測るための問題を出題した。

各試験日ごとの出題内容は以下の通りである。

2月9日 実施分

- I. 対数関数、ベクトル、三角関数の積分、場合の数と確率、複素平面の各分野についての計算問題。
- II. 三角関数に関する問題。
- III. 指数関数のグラフに関する問題。
- IV. 整数の整除に関する問題。